

日本骨髄バンクの現状（2002年1月末）詳細は別添一覧を参照下さい。

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,675	1,629	149,019	183,512
患者登録者数	116	131	1,679	11,987
骨髄移植例数	39	54	-	3,871

注）数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

① 患者負担金の改定。医療保険適用の可否等により、3月上旬、最終決定

2月1日（金）、4月からの患者負担金の改定について事前のお知らせをいたしました（<http://www.jmdp.or.jp/info/news/>）。当財団では、昨年から関係者とともに、国に対し「骨髄バンク事業への医療保険適用」について全力で要望運動に取り組んでおります。しかし、結果については全く楽観視できない状況。来年度の国庫補助金の減額は確定しており、医療保険適用が十分になされなかった場合には、まことに遺憾ではありますが、患者負担金の値上げに踏み切らざるをえない状況です。骨髄バンク事業を着実に進展させ、より多くの患者さんに移植のチャンスをお届けするためには、どうしても必要な運営経費を確保しなくてはならず、4月1日より患者負担金を改定させていただく予定です。なお、3月上旬には医療保険適用の可否、範囲、額が明らかになる予定です。これにより、もし当財団の財源が確保された場合にはそれに見合った改定額の見直しを行ないますので、最終的な改定額や具体的な移行措置などはあらためてお知らせいたします。

② 患者さん、ご家族へのアンケート実施。ご理解ご協力をお願いします

当財団設立10周年にあたり、昨年11月に、骨髄バンクを介して移植を受けられた患者さんと、骨髄提供をされたドナーの方へのアンケートを実施いたしました。このたび、第2弾として、移植をお受けになられたものの残念ながら亡くなられた患者さんのご家族、移植を希望しながらも移植を受けられなかった患者さんとそのご家族を対象にアンケートを実施しております。移植を希望された方で、残念な転帰をとられた患者さんも数多くいらっしゃるのも事実であり、そのご家族の方へアンケートを差し上げることは、大変心苦しいことではあります。しかし、こうした方々の忌憚のないご意見こそが、今後の骨髄バンクの充実と発展のために役立つものと考え、ご協力をお願いした次第です。今回のアンケートは、厚生労働省研究班との共同研究として、今後の骨髄移植医療の改善、発展に役立てる目的で行なわれるものです。アンケート結果は今年度中に解析を行い、厚生労働省へ研究班報告として報告されます。概要は「バンクニュース」や当財団のホームページなどで公表する予定です。

3 国会議事堂でドナー登録会開催。2月26日(火)、衆議院中庭にて

2月26日(火)、国会議事堂衆議院中庭において、献血併行型ドナー登録会が開催されます。骨髄バンク議員連盟(会長：野田聖子衆議院議員)の企画とご尽力により実現したもので、国会初の献血・ドナー登録会となります。多くの議員、秘書、国会職員の登録が期待されます。中央省庁では献血併行での登録会の実施が相次いでおり、これまで農林水産省、国土交通省、厚生労働省、経済産業省、外務省、総務省、財務省で開催され、総登録者数は266人にのぼりました。

4 1月の登録会報告。登録者の過半数376人が庁舎での登録会で

1月のドナー登録者数は1629人で、取消者数は654人、実質増加数は975人という実績でした。登録会は60回実施され(うち献血併行型54回)、合計744人の方にご登録をいただきました。過半数の376人の方は、庁舎での登録会でした。厚生労働省、農林水産省で3回開催されたのをはじめ、都道府県庁舎、市庁舎、町村役場での登録会は7都道県(千葉、広島、福岡、北海道、福島、神奈川、東京)で13回開催、16市区町村(宇都宮、徳島、松江、仙台、柏崎、京都、姫路、横浜、西宮、静岡、津山、福山、萩、東京都江戸川区、沖縄県川副町、沖縄県旭村)で計19回開催されました。中央省庁、各行政機関のご理解ご協力に心より感謝申し上げます。都道府県別の登録会の開催数は、東京8回、沖縄7回、福岡5回、広島、徳島4回。新潟、福島、岡山、京都、兵庫、神奈川、宮城、北海道、和歌山、静岡、栃木2回。滋賀、高知、千葉、熊本、愛知、山口、茨城、島根、佐賀、大阪が1回でした。

5 移植認定施設空き状況検索システム」を公開しました

2月14日より財団が認定している移植施設の、患者受入可能時期や病院の移植実績などの情報を調べることができるホームページを公開しました。移植病院決定等のためにぜひご活用ください。

ホームページのURLは、<http://www.jmdp.or.jp/pt/> です(メニューの「移植認定施設空き状況」をクリックしてください)。

6 唐沢寿明さん呼びかけによるオークション収益金、当財団にご寄付

NHK大河ドラマ「利家とまつ」で利家役をつとめる俳優 唐沢寿明さんが、所属プロダクション「研音」のタレント仲間呼びかけて実現した骨髄バンクチャリティオークションの収益金、約139万円が当財団に寄付されました。新聞で当財団の財政危機を知った唐沢さんの提案で実現したもので、昨年12月3日～16日まで、研音の携帯電話サイトとホームページ上でオークションが実施されました。期間中のアクセス数は2830件。唐沢寿明さんをはじめ、研音のスタッフの皆さま、オークションにご参加いただいた方々に、厚くお礼申し上げます。

7 「プロジェクトX」2月26日(火)放映決定。骨髄バンク誕生の物語

NHK総合テレビ2月26日(火)21時15分～21時58分放映の「プロジェクトX」で骨髄バンクが取り上げられます。タイトルは「奇跡を生んだ命の架け橋(仮)～日本初・骨髄バンク誕生～」。日本の骨髄バンクの先駆けとなった東海骨髄バンク誕生、そして第1号移植への道、日本の骨髄バンク実現のため、ボランティアで心血を注いだ人々のドラマが紹介されます。

8 DVDプレーヤー・液晶テレビの貸し出しとCD-ROM配布について

このたび、ソニー株式会社より骨髄バンクの普及啓発活動に役立ててほしいと、DVDプレーヤー30台、液晶テレビ14台、バッテリー20台が寄贈されました。当財団では、これに伴い登録説明用ビデオ「骨髄提供登録希望者の方へ」のCD-ROM版を制作しました。再生ソフトをダウンロードすることでパソコンでの再生も可能。ビデオ上映設備のない会場や、バスなど狭い会場での登録会開催など活用範囲が広がります。DVDプレーヤー等の貸し出し、CD-ROMの配布については、当財団広報渉外部までお問い合わせください(電話03 3355 5041)。

9 「患者さんと主治医のためのパンフレット」改訂版と「10周年記念誌」

当財団医療委員会編集の「患者さんと主治医のためのパンフレット」改訂版が完成しました。また、昨年発行した10周年誌「日本骨髄バンクのあゆみ」の在庫が若干ありますので、ご希望の方にお送りいたします。両書とも、お申込みは当財団ファックス(03 3355 5090)に、住所、氏名、電話番号、部数を明記のうえお申込みください。なお、財政難のりから、印刷実費、送料などの経費がかかっておりますので、寄付金の振込用紙を添えさせていただくこと、記念誌については先着順、お一人2冊までとさせていただきます。

10 ドナーズネット<http://www.donorsnet.net>、アンケート実施中

新着情報：1997年、白血病を発病し、2年後に骨髄バンクを介した骨髄移植で完治。療養を続けながら高校を卒業し、今年1月就職したばかりの小畑和馬さんと、職場や家族の理解に助けられ、ドナーとなった中島朝雄さんのインタビューが掲載されています。また、ドナーズネットのトップページのリニューアルを機に、3月20日まで、ドナーズネットをご覧いただいた感想についてのアンケートを実施していますので、ご協力ください。

国際協力事業の状況()、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	
米国 日本	
日本 台湾	
台湾 日本	
日本 韓国	
韓国 日本	
その他の国 日本	

* 4半期ごとに掲載です。

お知らせ